

船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第228号	
事故等名	衝突	
発生年月日時刻	平成21年8月20日 03時30分ごろ	
発生場所	愛媛県松山港西方沖 松山港外港2号防波堤北灯台から真方位253° 1,800m付近 (概位 北緯33°51.8′ 東経132°40.8′)	
事故等調査の経過	平成21年8月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 油送船 第五大洲丸、749トン 140671、平汽船株式会社</p> <p>B 漁船 未来丸、4.8トン EH3-23408（漁船登録番号）、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、四級海技士（航海）</p> <p>B 船長、一級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 右舷船首外板に擦過傷</p> <p>B 船首部に損傷</p>	
事故等の経過	A船は、船長ほか6人が乗り組み、松山港港外で錨泊灯を点灯して錨泊中、B船は、船長が1人で乗り組み、漁場から同県三津浜港（みつはま）に向け約3ノットの速力で自動操舵として東進中、平成21年8月20日03時30分ごろ、A船の右舷船首部とB船の船首部とが衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の初期、海上 平穏</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>船長Bは、松山港西方沖を漁網の洗浄を行いながら東進し、見張りを行っていなかったため、前路で錨泊中のA船に気付かなかつたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、夜間、松山港西方沖において、A船が錨泊中、B船が東進中、船長Bが見張りを行っていなかったため、A船に気付かず航行し、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	